

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	
坪井 明彦 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：人口戦略法案 ― 人口減少を止める方策はあるのか</p> <p>著者：山崎史郎</p> <p>出版社：日本経済新聞出版 I S B N : 9784532177102</p>	<p>「本書はフィクションである、だが語られるのはすべて現実だ。・・・日本再起を目指す者たちの戦略と苦闘を通じ、人口問題の現状と解決策を探る。小説スタイルの新しい解説書誕生！！」という帯のとおり、日本の人口問題の現状やこれまでの政策、海外の政策など、ストーリー形式で書かれているので非常に分かりやすいです。経済学部・地域政策学部ともに様々な科目のレポートの題材になるようなテーマやデータも盛りだくさんで、大学生の皆さんに非常にお勧めです。</p> <p>また、自分が結婚するのか、子供は何人欲しいかなどのライフプランを実現するために知っておくべき知識も記載されていて、これからライフプランを考える若い人たちにもお勧めの一冊です。</p>
<p>② 図書名：社会の变え方</p> <p>著者：泉房穂</p> <p>出版社：ライツ社 I S B N : 9784909044396</p>	<p>この本を読むまでは、著者である泉房穂氏（前明石市長）に対するイメージは、市の職員に対する暴言など、マスコミが取り上げるものしかありませんでしたが、この本を読んで、前明石市長に対するイメージが全く変わりました。</p> <p>明石市独自の子供施策「5つの無料化」、全国初の「寄り添い施策」、結果、10年連続人口増。人口増加率、全国の中核市で第1位という実績をあげています。</p> <p>なぜ、明石市でこのような施策が可能だったのか？著者の生い立ち、明石市で実現した政策、政治に対する考えなどが記されていて、著者の情熱が伝わります。理想の政治家とはどのような人か、理想の自治体のあり方とはどのようなものか、非常に考えさせられます。</p>
<p>③ 図書名：RANGE〈レンジ〉 知識の幅が最強の武器になる</p> <p>著者：デイビット・エプスタイン</p> <p>出版社：日経BP I S B N : 9784822288778</p>	<p>この本の帯には「人生で成功するのは『スペシャリスト』よりも『ゼネラリスト』だ!」、表紙の裏には「早めの専門特化より『まわり道』が強みになると記されています。</p> <p>近年、文系と理系の両方を学べる「文理融合」を掲げる学部が増えていますが、この現象も狭い領域の知識の深さよりも、「知識の幅」の重要性が増していることを示すものといえるでしょう。</p> <p>本学は文系の社会科学系を中心としていますが、特に地域政策学部では、基幹教養科目として、経済学、経営学、社会学、法学、政治学、地理学、歴史学、公共哲学、行政学があります。多様な視点から物事を考えるためにも、学生の皆さんには、「知識の幅」を広げるということを意識して様々な分野を学んでほしいと思います。</p>